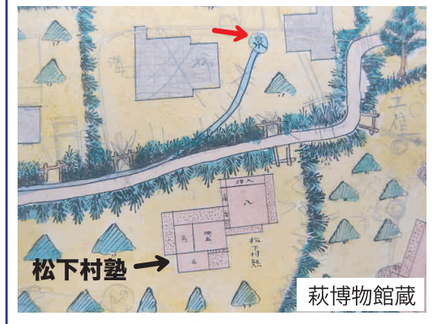
答えは 椿東小学校

椿東小学校は、扇状地の先端近くにあります。扇状地は、水がしみこみやすい砂や礫（小さい石）でできています。そのため、学校の近くにある月見川の水は、途中で地中にしみ込んで、地上では水が見えなくなります。大雨で水の量がふえた時しか水が流れません。郡司鋳造所遺構広場の池では、地下にしみこんだ水が、扇状地の先端部分でわき出たものです。吉田松陰が教えていた松下村塾のそばにも、昔、水がわき出る泉がありました。

地下にしみこんだ水が、ここの池にわき出ているよ。このあたりは、きれいな水がわき出るので、清水口とよばれているんだよ。

水がしみこみやすい扇状地の中央あたりには、かきの畑があるよ。昔は、「松本かき」として有名だったんだ。今でも古くて大きなかきの木があるよ。吉田松陰も、このかきが大好物だったんだって。

明治時代初めの松下村塾の図面



松下村塾の北側に、地下から水がわき出る泉がえがかれているよ。今は、もうないんだよ。

椿東小では毎年３月、卒業前の６年生が、松下村塾の講義室で吉田松陰の言葉を朗誦する会をおこなっているよ。

ふだんは、水が流れていないので、水無川ともよばれているよ。